

前田 新作 議員（代表質問）

1 新年度予算編成の基本について

(1) 安全・安心なまちづくりについて

- ア 公共施設(市役所、市民大ホール、市民会館、図書館、田中・寺家小学校校舎、地区公民館等)の耐震化工事の予定の見込みは。
- イ 沖田川、市内下流域の排水路、混住地域の農業用排水路等の洪水対策はどのように考えているのか。
- ウ 海岸の整備は。(三穂町までの堤防補強事業、階段式護岸の整備、人工リーフ、防砂林の整備等)
- エ 消防の広域化について(方針変更なのか)
- オ 早月川左岸の整備は。(低水護岸の整備、左岸道路、雑木や雑草の刈取り等)

(2) 財政状況について

- ア 新年度の交付税は本年並みが見込めるのか。
- イ 実質公債費比率の今後の推移並びに財政健全化について
- ウ 臨時財政対策債について、交付税措置されると言うが。

(3) 決算特別委員会の指摘事項への対応はどのようにするのか。

- ア 市営住宅の駐車場の料金徴収
- イ 公園管理等の委託業務における適正な施工管理の徹底
- ウ 学校給食共同調理場や図書館等の民間委託

(4) 市長提案理由説明の雇用・経済対策事業費の予算化とは。

2 スポーツ・健康の森公園整備について

(1) 事業費を考えた場合、今すぐやる事業なのか。

(2) 陸上競技場の400mトラックは無駄ではないか。 (利用率が低いと思うが)

(3) 今後整備にあたって追加工事が出てくるのではないか。 (多目的広場に観覧用のスタンド、夜間照明設備設置の要望等が出てくるのではないか)

3 滑川市の観光について

- (1) ほたるいか海上観光の充実について
- (2) ほたるいかミュージアムの展示内容の変更と充実について
- (3) ほたるいかミュージアムの駐車場の位置を正面入り口への変更について
- (4) レストラン「光彩」の今後の運営について

4 下水道整備事業について

- (1) 12月議会で予算が減額補正された。今後整備が予定されていた地域の工事に遅れがでないか。
- (2) 合併処理浄化槽整備のほうが、建設費が少なくなるのではないか。

5 新教育委員長就任にあたって

- ・ 辻沢新教育委員長就任にあたっての抱負と市内義務教育への教育方針を問う。

原 明 議員（一般質問）

1 農業振興対策について

- (1) 農村研修センターの利活用について
- (2) 新川育成牧場組合からの脱退について

2 小中学校での備品整備や教育環境の整備について

- (1) 備品整備、教育環境整備での優先順位について
- (2) 北加積小学校家庭科室の整備について
- (3) 小学校の洋式トイレの整備について
- (4) 小学校の環境整備について(樹木剪定など)
- (5) ピアノの調律について

水野 達夫 議員（一般質問）

1 消防広域化について

- (1) 県東部地域の消防広域化の現状について市長の思いは。また、市町村間の調整をすべき富山県の役割についてどう思うか。
- (2) 「消防の広域化」と「消防指令業務の共同運用」それぞれの滑川市の負担額はどれくらいか。
- (3) 今、滑川市が進むべき方向は「消防の広域化」か「消防指令業務の共同運用」か。

2 教育について

- (1) 今年度に入り、財団法人水野奨学会より市内小中学校へ書籍と書架等の寄附があったが、各小中学校での活用状況はどうか。また、今後の利用促進策は。
- (2) 市内小中学校における「いじめ」の状況はどうか。
- (3) 「ライフスキル教育」プログラムは、困難を上手に乗り越える力(ライフスキル)を養うのに非常に有効だと思われる。市内小中学校の先生方をはじめ、保護者や地域の人々にライフスキルの重要性と必要性を認識してもらい、子ども達に「ライフスキル教育」を実践することができないか。

3 協働のまちづくりについて

- (1) 県内の自治体において、魚津市が今年9月定例会において自治基本条例を可決、射水市が今の12月定例会において協働のまちづくり条例を上程している状況である。滑川市においても、住民とともに協働でまちづくりを進めていく上での指針策定に向けて動き出す時期ではないか。
- (2) 第4次総合計画にも、「協働推進施策の充実」として、「協働のまちづくり指針の策定」が掲げられている。指針を策定するに当たっては住民の方々の機運を盛り上げていく必要があり、それ相応の時間もかかる。そのためにもいろいろな場面での「協働」の環境づくりや市の推進組織も必要と思われるがどうか。

中島 勲 議員（一般質問）

・ 都市基盤の整備における海洋高校の跡地利用について

（１）整備計画について

ア 資産譲渡における交渉において、市の財政負担を抑えるためにどのような要望をしているのか。

イ 県、サッカー協会、市のそれぞれの役割はどうか。

ウ 新たな土地購入を含め総事業費の中での市負担はどの程度なのか。

エ オープンまでのスケジュールはどうか。

オ 周辺住民の理解を確実に、特に雨水対策は万全か。

（２）運営会社について

ア 主体となる総合型スポーツクラブの概要と設立に向けたスケジュールはどのように。

イ 市との関係は関与の度合いを含め、どのようになっていくのか。

ウ 収支を含めた財政基盤はどうか。

エ 市民が利用する場合の優遇を求めないのか。

（３）地域振興について

ア 点から面への広がりを持った開発を進めるべきと思うが（新駅、公園、高月漁港など）

イ 民間資本が導入されやすい優遇策を考えているか。

高木 悦子 議員（一般質問）

1 並行在来線の今後について

- (1) 富山県並行在来線対策協議会幹事会に「経営計画概要(素案)」が提示されたが、市民の利便性という観点から、どのような課題があると認識しているか。
- (2) 1月に開催が予定されている富山県並行在来線対策協議会における「経営計画概要」の策定に関して、滑川市としてどのような要望を出していく予定なのか。
- (3) 並行在来線停車駅を有する自治体の中でも、新幹線駅を持たない自治体は共通した課題を持っていると考えるが、そういった自治体との連携した協議態勢は考えているのか。
- (4) 3年後に迫った、並行在来線の開業に向けて、市民の皆さんへの情報の発信が乏しいと感じるが、今後の取り組みは。

2 海洋高校閉校後のフットボールセンター(仮称)運営計画について

- (1) 海洋高校閉校後に設置が予定されている富山県フットボールセンターに対する滑川市の初期負担の予定は。
- (2) 平成25年度に開業後の滑川市の負担はあるのか。
- (3) 初年度は、滑川市への借地料の支払を免除する計画となっているが、万が一、フットボールセンターの採算が合わなくなったときに、借地料が減額されるということはあるのか。それとも県サッカー協会が担保するのか。
- (4) 特別委員会に提示された資金運用計画では、納税が考慮されておらず、更に4年目以降は単年度で赤字を計上する計画となっている。10年後の人工芝張替時に、大きな負担が滑川市に求められることは無いのか。
- (5) フットボールセンターの利用を促進するため、近隣住民に不法駐車で迷惑をかけないためにも、公共交通機関の充実が求められると考える。

フットボールセンターが富山県下全域の競技力向上施設ということからも、並行在来線の新駅設置に関して、滑川市として今以上に前向きに検討し、富山県に対して積極的な働き掛けをしていかないか。

3 スポーツ・健康の森公園の緊急性について

- (1) 平成25年度にフットボールセンターが滑川市内にできてサッカー競技の拠点が出来ることになるが、スポーツ・健康の森公園の利用に及ぼす影響は。
- (2) 9月議会の代表質問の答弁内容の利用見込みのために、400メートルトラックが本当に必要なのか。
- (3) 魚津市桃山の陸上競技場を借りている状況に関して、魚津市から使用してもらっては困ると指摘を受けたのか。
- (4) 介護予防・健康寿命の伸延を促すのであれば、ふれあいサロンなどの充実や、運営の人材育成にこそ取り組むべきではないか。
- (5) 市民の安全・安心を最優先すべき現在において、財政健全化を掲げるのであれば、滑川市の身の丈に合った施設とすべきではないか。

浦田 竹昭 議員（一般質問）

1 北アルプス横断道路構想について

- (1) 富山県と長野県を結ぶ、北アルプス横断道路構想についての見解を問う。
- (2) 朝日ルート、上市ルート、立山ルートの3ルートのうち、どのルートが本市にとってベストか見解を問う。
- (3) 富山県並びに本市にとって、横断道路による人、物、金等の流れの効果について見解を問う。
- (4) 近隣市町との、連携の必要性について見解を問う。
- (5) 横断道路推進並びにそれに伴うインフラ整備のための本市の役割と取り組みについての見解を問う。

2 小電力発電の推進について

- (1) 小水力発電担当者の配置について所見を問う。
- (2) 小水力発電並びにマイクロ水力発電の今後の取り組みについての見解を問う。

3 公共施設の設備のメンテナンスについて

- (1) みのわ温泉の対応についての見解を問う。
- (2) 公共施設の設備の点検・保守と修繕について所見を問う。

古沢 利之 議員（一般質問）

1 消防広域化について

- (1) 広域化の目的について
- (2) 広域化の進捗状況について
- (3) 一部事務組合による広域化の方向に変わらないか。

2 災害時要支援者への対応について

- (1) 登録の現状について
- (2) 登録の見直し、更新の状況（頻度）について
- (3) 消防を含めた関係機関との情報共有について

3 防災力強化のために

- (1) 大震災後、各地で誘発地震と考えられる地震が発生している。近くの断層帯を含めた調査を国・県に求めるべき。（国の調査の重点は太平洋側におかれている）
- (2) 市民向けに、地震、津波などの講演会、勉強会で啓発を。
（富山県には地震・津波はないと思われていないか）

石倉 正樹 議員（一般質問）

・ 滑川市海浜公園の整備促進を

- (1) 主要地方道富山魚津線、市営荒俣団地交差点から海浜公園駐車場に通じる市道の拡幅をすべきではないか。
- (2) 設置されているトイレが汚く利用しにくい環境にあり、特に女性からの苦情も多いことから水洗化にすべきではないか。
- (3) 防砂林や芝生広場と防波堤との間の側溝がゴミや砂で汚れている。年間を通じてきれいにできないか。
- (4) 東福寺野自然公園や行田公園のように、市民の皆さんにもっと利用してもらえるように、公園化整備のさらなる促進を中・長期的に計画すべきと思うが。
- (5) 市のイベント等を企画し、利用促進を図るべきではないか。

森 結 議員（一般質問）

1 海洋高校閉校後の活用について

- (1) サッカー場整備のため、市が事業主体となって整備するとなっているが、県有財産であり、県が事業主体になるべきでないか。
- (2) 土地の譲渡を受けるのに、約30% 1億2000万円相当が有償とあるが、すべて無償譲渡で受けるべきである。(県は土地を取得したときに1平方メートル=1万2000円もしていない。)
- (3) サッカー協会が必要とする土地の不足面積と取得価格は。
- (4) 市が支出した金額はすべて賃貸料として回収されるか。
- (5) サッカー協会の資金運用計画では、2年後から月50万円、年間600万円を借地費に充てるとあるが、税法上積立金の計上はできないそうである。とするならばその分を借地費に充てさせてはどうか。(回収期間の短縮)
- (6) 全額回収した時点で土地、建物などの所有者は誰なのか。市の普通財産として残るならば、その後も賃貸契約となるか。

2 にこにこ商品券の効果について

- (1) 平成21年度の消費実績は。
- (2) 平成22年度の消費実績は。
- (3) 平成23年度の消費実績は。
- (4) 3ヵ年事業の総括としての経済効果、景気浮揚に貢献があったと思われるか。(市税約2千400万円投入)
- (5) 今後またこの事業に補助要請があったらどうするか。

3 中学校の自殺事件について

- (1) 小中学校長会で何か検討されたか。あったとすればそのまとめは。
- (2) 教育委員会で何か検討されたか。あったとすればそのまとめは。

4 各種選挙の投開票の時間短縮について

- (1) 期日前投票の現行午前 8 時半からを午前 9 時からに。
- (2) 期日前投票の締め切り午後 8 時を午後 7 時に。
- (3) 投票日の締め切りを午後 7 時に。
- (4) 開票時刻を午後 8 時に。
- (5) 期日前投票の宣誓書の簡素化、もしくは廃止を。

岩城 晶巳 議員（一般質問）

1 養鶏場建設問題について

- (1) 県の農地転用にかかる県の農業会議は条件付きで認可をされているが、それだけで建設着工が可能なのか。
- (2) 排水の問題とともに臭気はすぐにも問題になってくるのでは。
- (3) 今までに業者から建設に関して相談などあったのか。
- (4) 現状を踏まえこれからの見通しを当局はどう考える。

2 社会資本の整備について

- (1) 市道宮窪大島線は今回の補正予算で完成となるが、それ以降の大島町内までの拡張整備はどうなるのか。
- (2) 新国道8号の大掛交差点から、道路の雨水の排水工事は最後の10メートル程よりこの2年間進んでないようだがどうなるのか。
- (3) 東部小学校校門前の歩道の設置について
- (4) 東部小学校交差点から旧国道8号に向けての道路整備について
- (5) 市道大掛町内1号線の道路整備について

砂原 孝 議員（一般質問）

1 国民健康保険制度の運用について

- (1) 平成 25、26 年度の収支予測は。
- (2) 保険税を値上しないで持続する方策は。
(例)ジェネリック医薬品の普及、生活習慣病の早期発見予防など

2 市道橋梁の長寿命化対策について

- (1) 市が管理する幅 5 メートル以上の橋梁は何梁あるか。
- (2) その内、補強を急ぐべき橋梁は何ヶ所あるか。
- (3) その補強計画は。

3 児童館の早期改築を

- ・ 第 4 次総合計画では平成 27 年まで改築とされているが、現状を理解され、早期の改築を。

4 蓑輪テニス村の今後の対応について、当局の方針を問う

野末 利夫 議員（一般質問）

・ 決算特別委員会の指摘事項について

- (1) 市営住宅の家賃滞納について、連帯保証人制度を効果的に活用され時効による取り立て不能とならないよう、市税等徴収対策室を有効に活用すること。特に悪質な多額滞納者に対し法的措置も含めて対応すべきと思うが見解を求める。
- (2) 民間の賃貸住宅や雇用促進住宅の利用者は、駐車場の料金が徴収されているが、市営住宅の利用者は、駐車場料金が徴収されていない。市民感情として不公平感があるので、徴収してはどうか。見解は。
- (3) 民間委託や指定管理者など努力していることは理解できるが、学校給食共同調理場や図書館なども検討してはどうか。見解を求める。
- (4) 文化・伝統・郷土芸能を伝承するため補助金の増額と保存会の育成について問う。